

NFAアクションプラン2022→2026		全体	5頁中の	1頁
1. 現状の概要と今後の方向性		グラスルーツ委員会		
<p>2021年度より、1) 女子U-12普及プロジェクト、2) キッズ委員会、3) 障がい者普及部門の3つを統合して「グラスルーツ委員会」となる。</p> <p>1) 女子U-12普及プロジェクトは、2014年度以降、女子U-12選手の登録が4種登録に移行されたことによって、女子委員会と4種委員会との連絡・調整から4種委員会主導による女子普及活動（ガールズゲーム推進、なでしこ広場普及・推進、ガールズトレセン活動推進等）が進められている。</p> <p>2) キッズ委員会の3本柱（巡回指導・キッズフェスティバルの開催・キッズリーダーの養成）において、まず、第一に、巡回指導は県下全域において一定程度の回数を実施できている。一方、キッズフェスティバルの開催については新潟地区に開催が偏っており、全県的な開催を目指す必要がある。また、キッズリーダー講習会等の全県的な開催は十分ではなく、今後さらに推進していく必要がある。2024年度以降、キッズ普及部門の役割を4種委員会内に移管していくために、2023年度は移行期間としていく。</p> <p>3) 障がい者サッカーの普及活動については、ウイルス感染症の影響によるパラサッカーフェスティバル中止が3年続き、停滞している。日常的なパラサッカークリニックの活動を積み重ね、障害者サッカーの現状を把握し、障がい者サッカーの方向性を捉えることを当面の課題としていく。今後、障がい者サッカー団体・チームとの連絡協議会を組織し、障がい者サッカーの普及のあり方や推進について、クリニック・フェスティバルの企画・運営を積み重ねながら、漸次アップデートしていく。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>				

NFAアクションプラン2022→2026		全体	5頁中の	2頁
2. 中期目標(2030年)		地区協会 グラスルーツ委員会 連盟		
<p>1) 女子U-12普及部門では、女子委員会・4種委員会との連携を一層進め、フェスティバルの企画・運営に主体的な関わりをしていく。また、北信越ガールズゲームへの県内チームの参加を押し進めていき、その企画・運営に一定程度の役割を果たしていく。さらに北信越ガールズエイト（トレセン活動）への県トレセン指導者の派遣やトレセン活動への一定程度の役割を果たしていく。</p> <p>2) キッズ普及部門は、2024年度以降に4種委員会への移管を進めるために、2023年度は4種委員会との連携を押し進めながら、スムーズな移管が実現できるよう連携して活動していく。巡回活動について、巡回指導をする団体をさらに増やしていけるよう4種委員会との連携を押し進める。未登録の未就学児への働きかけとして、キッズフェスティバル（ユニクロサッカーキッズをはじめとして）を県下4地区で開催していく。また、県下4地区でキッズリーダー研修会・講習会を開催し、キッズリーダー養成をしていく。</p> <p>3) 障がい者サッカー普及部門は、障がい者サッカー団体からの意見を取りまとめ、その意向を背景にして、障がい者サッカー全体の活動をデザインしていくため、「パラサッカー連絡協議会」を組織することを目指す。さらに、2026年度までに「パラサッカー連盟（仮称）」のような「パラサッカー団体を総括する組織」を県協会の関連団体として組織していく。「パラサッカー連盟（仮称）」が障がい者サッカー普及の主体となって、フェスティバルの開催・パラサッカークリニック・パラサッカー巡回指導（特別支援学校への巡回指導）等の事業を実現していく。</p>				

NFAアクションプラン2022→2026		全体	5頁中の	3頁
3. 長期目標(2050年)		地区協会 グラスルーツ委員会 連盟		
<p>1) 女子U-12普及部門は、女子委員会・4種委員会・技術委員会等の他組織と連携して、女子U-12普及活動を推進していく。女子委員会・4種委員会・技術委員会との連携はスムーズになり、ガールズフェスティバルの開催・企画・運営や北信越ガールズエイト（女子トレセン活動）の指導者の連携・北信越ガールズゲームの企画・運営が切れ目なく行われていく。さらに県内4地区でのなでしこ広場登録団体が増えていき、開催が毎月行われていく。</p> <p>2) キッズ普及部門の4種委員会移管はスムーズに行われ、県下4地区での巡回指導が切れ目なく行われていく。キッズフェスティバルは県下4地区でまんべんなく行われていく。また、キッズリーダー養成講習会が県下4地区で年間を通じて開催され続けていく。</p> <p>3) 「新潟県パラサッカー連盟（仮称）」が、新潟県サッカー協会の指導のもと、障がい者サッカー団体を意向・意思を体現して、障がい者のサッカーフェスティバルや大会を主催・主管していく。「新潟県パラサッカー連盟（仮称）」が、新潟県サッカー協会の指導のもと、主体的にパラサッカークリニックを企画・運営していく。また、特別支援学校への巡回指導など普及活動に効果のかる活動を積み重ねていく。</p>				

NFAアクションプラン2022→2026						全体 5頁中の 4頁
4. 現状分析						地区協会 グラスルーツ委員会 連盟
No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策	
1 女子U-12登録数	4種登録人数のうち、女子U-12女子の登録数を400人にする。	4種登録人数のうち、女子U-12登録人数は200人	50%	4種登録チーム内にあって、未登録の女子U-12選手が多数ある。登録のメリットが浸透していない。	北信越ガールズゲームへの参加やフェスティバル参加などの登録のメリットをアピールしていく。	
2 なでしこ広場	なでしこ広場に登録して開催する団体を4団体以上にする。	なでしこ広場に登録している団体は7団体あるが、月1回程度以上開催する団体は2団体に止まる。	50%	なでしこ広場の登録はしても、月1回以上の開催について、会場確保など難しい。	役員の旅費・日当など開催の労に報いる手当を行う。	
3 北信越ガールズゲーム	北信越ガールズゲームに毎年県内から複数チームが出場する。	2021年は新潟開催予定であったが、感染症流行のため中止。2022年度は福井県開催。県内から1チーム参加。	50%	県内に女子U-12のみで単独チームが組める人数はいない。複数チームからの合同チームを複数チーム分編成しなければならない。	女子U-12選手が所属する4種登録チームへの働きかけを続け、合同チームの編成や指導者を出すことへの取り組みを推進していく。	
4 北信越ガールズエイト	北信越ガールズエイト（トレセン大会）に毎年指導者を複数人派遣し続ける。	2022年度開催の北信越ガールズエイトに指導者を2名派遣した。	100%	女子U-12選手の登録を進めて行くことが女子委員会のみならず4種登録チームにとっても共通のメリットがあることへの理解がまだない。	4種登録チームへの働きかけを続けていく。	
5 ガールズフェスティバル	女子委員会との連携で県内女子U-12選手が参加できるガールズフェスティバルを年間複数回企画・運営する。	女子委員会との連携で県内女子U-12選手が参加できるフェスティバルを1回実施した。	50%	グラスルーツ委員会のみで、フェスティバルを企画・運営していくことは難しく、常に他の委員会、特に4種委員会との調整が必要なのが課題である。	4種委員会と連携を深め、4種主催の大会等との調整をして、女子U-12選手のみ参加できるフェスティバルを毎年複数回実施していく。	
6	「ユニクロサッカーキッズ」をデンカビッグスワンで毎年開催していく。	2021年度は、16年ぶりに開催したが、2022年度は落選したため、開催できなかった。	10%	未登録の未就学児にデンカビッグスワンの天然芝でのゲームを提供することにより、保護者の方々や周辺の方々へのサッカー普及の取り組みを周知していただける機会となる。	県協会の一委員会や一部門での取り組みでなく、県協会全体として普及に取り組む姿勢を創出していくことが必要であると感じる。	
7 キッズフェスティバル	4種委員会・女子委員会・技術委員会と連携して、県内4地区でキッズフェスティバルを年間10回以上開催し続ける。	COVID19ウイルス感染症の影響で2022年度は年間9回の開催に止まった。	90%	COVID19ウイルス感染症が5月から2類から5類相当に変更されることから、COVID19以前のような人的交流が復活し、フェスティバル等が盛んに開催されるようになることを期待している。	普及活動の歩みを止めることなく、繰り返し繰り返しフェスティバルの開催を続けていくことで普及の実を实らせたい。	
8 キッズ普及部門を4種委員会へ統合	2024年度にキッズ普及部門を4種委員会に統合する。	2021年度に女子U-12普及・キッズ普及・障がい者普及の3部門が統合してグラスルーツ委員会となったが、普及活動が多岐にわたるため2024年度からキッズ普及部門は4種委員会へ移管されることに	0%	普及3部門をすべてグラスルーツ委員会として活動していくには内容が多岐にわたるため、キッズ普及部門はより密接に係る4種委員会へ移管されることになった。	普及に関しては、どこかの委員会のみが活動するというのではなく、全体をみながら、それぞれが連携して役割を果たしていくことが求められる。	
9 キッズ巡回指導	キッズ巡回指導を年間500回以上実施し続ける	COVID19ウイルス感染症の中にあってもキッズ巡回指導は年間500回程度実施することができた。	100%	感染症対策をしながら、希望する幼稚園・保育園・子ども園に巡回指導することができたが、それをフェスティバル参加者の増加や協会登録人数の増加へと繋げる取り組みが必要である。	巡回指導をより広範な団体・チームから担っていただけるように4種登録チームとの連携を深めていく。	
10 キッズリーダー講習会	県下4地区で、キッズリーダー養成講習会を年間複数回以上実施する。	キッズリーダー養成研修会を実施できていない。	0%	県内4地区での、キッズリーダー養成研修会を実施していくことでキッズ普及への関心を高めていくことが必要である。	4種委員会への移管に伴い、メンバーの刷新を図り、全体の活動の活性化を図りたい。	
11 パラサッカー連絡協議会から連盟へ	パラサッカー連絡協議会を年間複数回開催することでパラサッカー団体の主体的な取り組みを実現できるパラサッカー連盟(仮称)の設立を目指す	パラサッカー団体・チームとの協議を重ねる前段階の「連絡協議会」を開催した。	50%	県内のパラサッカーチーム・団体について現状の把握がほぼできた状態にはあるが、個々の障がいのある方々の現状やその願いについてのリサーチが十分とは言えない状態である。	現状の「パラサッカー連絡協議会」に参加して下さっているチーム・団体の方々との連携から、その周辺の方々の現状や願いについて拾い上げていく必要がある。	
12 パラサッカークリニックの月1回程度の実施	パラサッカーの普及のために、障がいのある方々の現状と願いの理解が必要である。そのため月1回程度パラサッカークリニックを行い、その現状把握と願いの理解に努める。	アルビレックス新潟コーチとの連携を図り、月1回程度のパラサッカークリニック実施に向けて協議している。	0%	月1回程度パラサッカークリニックを実施していくことの必要性を理解していただき、予算化していきたい。	パラサッカー連絡協議会に参加いただいているチーム・団体から、パラサッカークリニックの実施について告知に協力していただく。	
13 パラサッカーフェスティバルを年複数回開催する	障がいのある方々への「だれでもいつでも どこでも」サッカーに親しむ環境整備のためにも年間複数回のパラサッカーフェスティバルを開催しつづけていくことが大切と考える。	JFAの支援を仰ぎ、アルビレックス新潟との連携からパラサッカーフェスティバルを年間複数回開催していく。	10%	委員会メンバーのマンパワーの不足と積み重ねの浅さから予算的にも脆弱な体制であることなど課題が多い。	パラサッカー協議会からパラサッカー連盟へと組織可してパラサッカー競技者を糾合し、財政的な支援を募りながら、パラサッカーの輪を広げていきたい。	
14 特別支援学校への巡回指導を実現する	障がいのある方々への働きかけの重要な要素として特別支援学校への巡回指導を実現したい。	グラスルーツ委員会とアルビレックス新潟コーチとの連携から特別支援学校へのコンタクトをとり特別支援学校への巡回指導への可能性を探る。	0%	障がいのある方々がサッカーに親しむ環境を創出していくことの難しさを少しずつ解決していくために活動の意義を伝えながら予算化していく。	パラサッカー連絡協議会やイベント・クリニックなどのあらゆる機会にともにサッカーに親しむ楽しさを伝えていく。	
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要	

NFAアクションプラン2022→2026					全体 5頁中の 5頁
5. 具体的アクション					グラスルーツ委員会 連盟 地区協会
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1	グラスルーツ委員会女子普及部が	2025年度末までに	4種登録内の	女子登録人数を400名に	倍増する
2	グラスルーツ委員会女子普及部が	2025年度末までに	県内各地区で	月1回程度なでしこ広場を開催する団体数を2022年度末2団体に止まる団体数を	4団体以上に倍増する
3	グラスルーツ委員会女子普及部が	2023年から2026年まで	北信越ガールズゲームに	県内女子チームを編成して	指導者と複数チームで参加し続ける
4	グラスルーツ委員会女子普及部が	2023年から2026年まで	北信越ガールズエイムに	指導者を複数名	派遣し支援し続ける
5	グラスルーツ委員会女子普及部が	2023年から2026年まで	県内で	年間に複数回のガールズフェスを	女子委員会と連携し、企画・運営に携わり続ける
6	グラスルーツ委員会と4種・女子・技術委員会とが連携すること	2023年から2026年まで毎年	デンカビッグスワンズ	ユニクロサッカーキッズを	開催し続ける
7	グラスルーツ委員会と4種・女子・技術委員会とが連携すること	2023年から2026年まで毎年	県内4地区で	JFAキッズフェスティノ	毎年10回以上開催し続ける
8	グラスルーツ委員会と4種委員会とが連携すること	2024年度までに	4種委員会に	グラスルーツ委員会キッズ普及部門を	移行・統合する
9	グラスルーツ委員会と4種委員会とが連携すること	2023年から2026年まで	県内各地で	4種委員会と連携しながらキッズ巡回指導を	年間500回以上を開催し続ける
10	グラスルーツ委員会と4種委員会とが連携すること	2023年から2026年まで	県内各地で	キッズリーダー養成研	毎年複数回以上開催し続ける
11	グラスルーツ委員会パラサッカー部が	2024年度末まで	県内で	パラサッカー団体を統括する組織を	立ち上げる
12	グラスルーツ委員会パラサッカー部が	2023年から2026年まで毎年	県内各地区各会場で	アルビレックス新潟と連携し、パラサッカークリニックを	月1回程度開催する
13	グラスルーツ委員会パラサッカー部が	2023年から2026年まで	県内で	アルビレックス新潟・パラサッカー団体との連携を深めることを続けながら、パラサッカーフェスティバルを	年間2回以上開催し続ける
14		2023年から2026年まで毎年数回以上	県内特別支援学校で	アルビレックス新潟・パラサッカー団体との連携を深めることを通じてパラサッカー巡回指導を	年間5回以上を行う

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です